

令和元年度 中学校「学習指導・評価計画表」教科【数学】学年【1年】担当者 福井 秀訓

関 数学への関心・意欲・態度

見 数学的な見方や考え方

技 数学的な技能

知 数量や図形などについての知識・理解

月	単 題 元 材	学 習 内 容	観 点	評 価 規 準 (B) おおむね満足	判断の基準 AとBの違いなど	評価方法 場面・時期
4・5月	1章 正の数・負の数	<p>□0より小さい数</p> <p>□正の数・負の数で量を表すこと</p> <p>□絶対値と数の大小</p> <p>□正の数・負の数の加法、減法</p> <p>□加法と減法の混じった計算</p> <p>□正の数・負の数の乗法、除法</p> <p>□乗法と除法の混じった計算</p> <p>□いろいろな計算</p> <p>□数の世界のひろがり</p> <p>と四則計算</p> <p>□正の数・負の数の利用</p> <p>□素数の積で表すこと</p>	<p>関</p> <p>見</p> <p>技</p> <p>知</p>	<p>・正の数と負の数の必要性和意味、その計算の仕方を考えたりすることに關心をもち、正の数と負の数を用いて、身の回りの様々な事象や状況を表したり、処理したり、計算したりしようとしている。</p> <p>・正の数と負の数が使われている具体的な場面を見だし、どのように用いられているのか考えたり、計算の仕方を見いだすことができる。</p> <p>・数を正の数と負の数にまで拡張し、加法と減法を統一的にみたり、四則計算の可能性についてとらえ直すことができる。</p> <p>・正の数と負の数を用いて、身の回りの様々な事象を表したり処理したりすることができる。</p> <p>・正の数と負の数の大小関係を表したり四則計算ができるとともに、加法と減法の混じった式を正の項や負の項の和として表すことができる。</p> <p>・自然数や整数、正の数と負の数の必要性、大小関係、符号、絶対値や四則計算の仕方を理解している。</p> <p>・数を正の数と負の数にまで拡張することによって、加法と減法を統一的にみることができることを理解している。</p>	<p>・正の数と負の数の必要性和意味、その計算の仕方を考えたりすることに關心をもち、正の数と負の数を用いて、自ら進んで身の回りの様々な事象や状況を表したり、効率よく処理したり、計算したりしようとしている。またそのよさを理解している。</p> <p>・正の数と負の数が使われている具体的な場面を自ら進んで見だし、どのように用いられているのか考えたりすることができ、手際よく計算する仕方を見いだすことができ、説明できる。</p> <p>・数を正の数と負の数にまで拡張し、加法と減法を統一的にみたり、四則計算の可能性についてとらえ直すことができ、説明ができる。</p> <p>・正の数と負の数を用いて、身の回りの様々な事象を的確に表したり、効率的に処理したりすることができる。</p> <p>・正の数と負の数の大小関係を表したり四則計算が手際よくできるとともに、加法と減法の混じった式を正の項や負の項の和として状況に応じ的確に表すことができる。</p> <p>・自然数や整数、正の数と負の数の必要性、大小関係、符号、絶対値や四則計算の仕方を理解し、説明ができる。</p> <p>・数を正の数と負の数にまで拡張することによって、加法と減法を統一的にみることができることを理解し説明できる。</p>	<p>定期テスト 小テスト 単元末テスト 発表(毎時間) 机間指導(毎時間) ノート ファイル(プリント) 問題集 宿題</p>
6・7月	2章 文字の式	<p>□数量を文字で表すこと</p> <p>□文字式の表し方</p> <p>□式の値</p> <p>□文字式の加法、減法</p> <p>□文字式と数の乗法、除法</p> <p>□関係を表す式</p>	<p>関</p> <p>見</p> <p>技</p> <p>知</p>	<p>・文字を用いることや、文字を用いた式を計算したり、活用したりすることに關心をもち、文字を用いて数量やその関係を式に表したり、その意味を読みとったりしようとしている。</p> <p>・数量の関係や法則などを文字を用いた等式や不等式などでどのように表すのか、式が何を意味しているのかを考えることができる。</p> <p>・一次式の加法と減法の計算方法を具体的な数の計算や日常生活の場面と関連付けて考えることができる。</p> <p>・数量の関係や法則などを文字を用いて等式や不等式に表したり、式の意味を読みとったりすることができる。</p> <p>・文字を用いた式の乗法と除法をその表し方に従って表したり、簡単な一次式の加法と減法の計算をしたり、式の値を求めることができる。</p> <p>・文字を用いることの必要性、項や係数の意味などを理解している。</p> <p>・文字を用いた式における乗法と除法の表し方や、一次式の加法と減法における項のまとめ方を理解している。</p> <p>・文字式は、操作方法と結果の両面を表し、等号は計算過程と相当関係の両面を表すことを理解している。</p>	<p>・文字を用いることや、文字を用いた式を計算したり、活用したりすることに關心をもち、そのよさを理解し説明できる。進んで文字を用いて数量やその関係を式に表したり、その意味を読みとったりしようとしている。</p> <p>・数量の関係や法則などを文字を用いた等式や不等式などでどのように表すのか、式が何を意味しているのかを意欲的に考えることができる。</p> <p>・一次式の加法と減法の計算方法を具体的な数の計算や日常生活の場面と進んで関連付けて考えることができ、そのよさを理解し説明できる。</p> <p>・数量の関係や法則などを文字を用いて等式や不等式に手際よく表したり、式の意味を読みとったりすることができる。</p> <p>・文字を用いた式の乗法と除法をその表し方に従って表したり、的確に手際よく簡単な一次式の加法と減法の計算をしたり、式の値を求めることができる。</p> <p>・文字を用いることの必要性、項や係数の意味などを十分理解し、説明できる。</p> <p>・文字を用いた式における乗法と除法の表し方や、一次式の加法と減法における項のまとめ方を十分理解し、説明できる。</p> <p>・文字式は、操作方法と結果の両面を表し、等号は計算過程と相当関係の両面を表すことを十分理解し、説明できる。</p>	<p>定期テスト 小テスト 単元末テスト 発表(毎時間) 机間指導(毎時間) ノート ファイル(プリント) 問題集 宿題</p>
8・9月	3章 方程式	<p>□方程式とその解</p> <p>□方程式の解き方</p> <p>□比と比例式</p> <p>□方程式の利用</p> <p>□比例式の利用</p>	<p>関</p> <p>見</p> <p>技</p> <p>知</p>	<p>・方程式の必要性和その意味を考えたり、活用したりすることに關心をもち、一元一次方程式を解こうとしたり、問題の解決に生かそうとしている。</p> <p>・等式の性質を基にして、移項してよい理由を考えたり、一元一次方程式の解き方を考えることができる。</p> <p>・具体的な事象の中の数量の関係をとらえ、一元一次方程式をつくることができる。</p> <p>・方程式の解や解決の方法が適切であるかどうか振り返って考えることができる。</p> <p>・一元一次方程式に数を代入して、その数が解であるかどうかを確かめることができる。</p> <p>・簡単な一元一次方程式を解くことができる。</p> <p>・簡単な比例式を解くことができる。</p> <p>・一元一次方程式及びその中の文字や解の意味、等式の性質や移項の関係を理解している。</p> <p>・方程式を解く手順や、方程式を使って文章問題を解く手順を理解している。</p>	<p>・方程式の必要性和その意味を考えたり、活用したりすることに關心をもち、そのよさを理解している。一元一次方程式を進んで解こうとしたり、問題の解決に生かそうとしている。</p> <p>・等式の性質を基にして、移項してよい理由を考えたり、一元一次方程式の解き方を進んで考えることができ、説明できる。</p> <p>・具体的な事象の中の数量の関係をとらえ、進んで一元一次方程式をつくることができ説明できる。</p> <p>・方程式の解や解決の方法が適切であるかどうか振り返って考えることができ、説明できる。</p> <p>・一元一次方程式に数を代入して、その数が解であるかどうかを手際よく確かめることができる。</p> <p>・簡単な一元一次方程式を手際よく、効率的に解くことができる。</p> <p>・簡単な比例式を手際よく解くことができる。</p> <p>・一元一次方程式及びその中の文字や解の意味、等式の性質や移項の関係を理解し、説明できる。</p> <p>・方程式を解く手順や、方程式を使って文章問題を解く手順を理解し説明できる。</p>	<p>定期テスト 小テスト 単元末テスト 発表(毎時間) 机間指導(毎時間) ノート ファイル(プリント) 問題集 宿題</p>